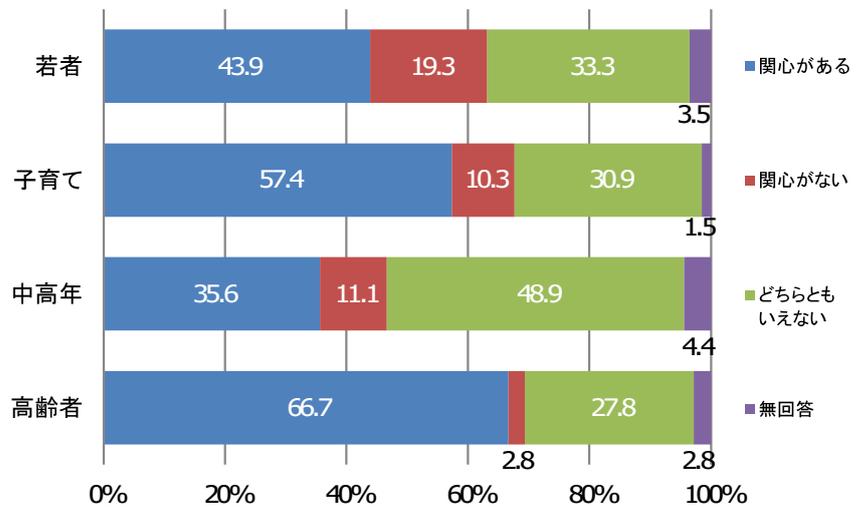
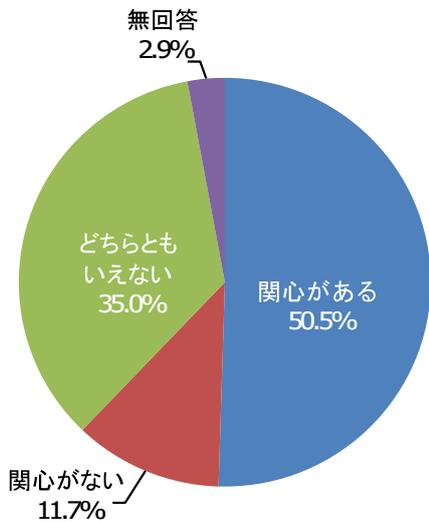


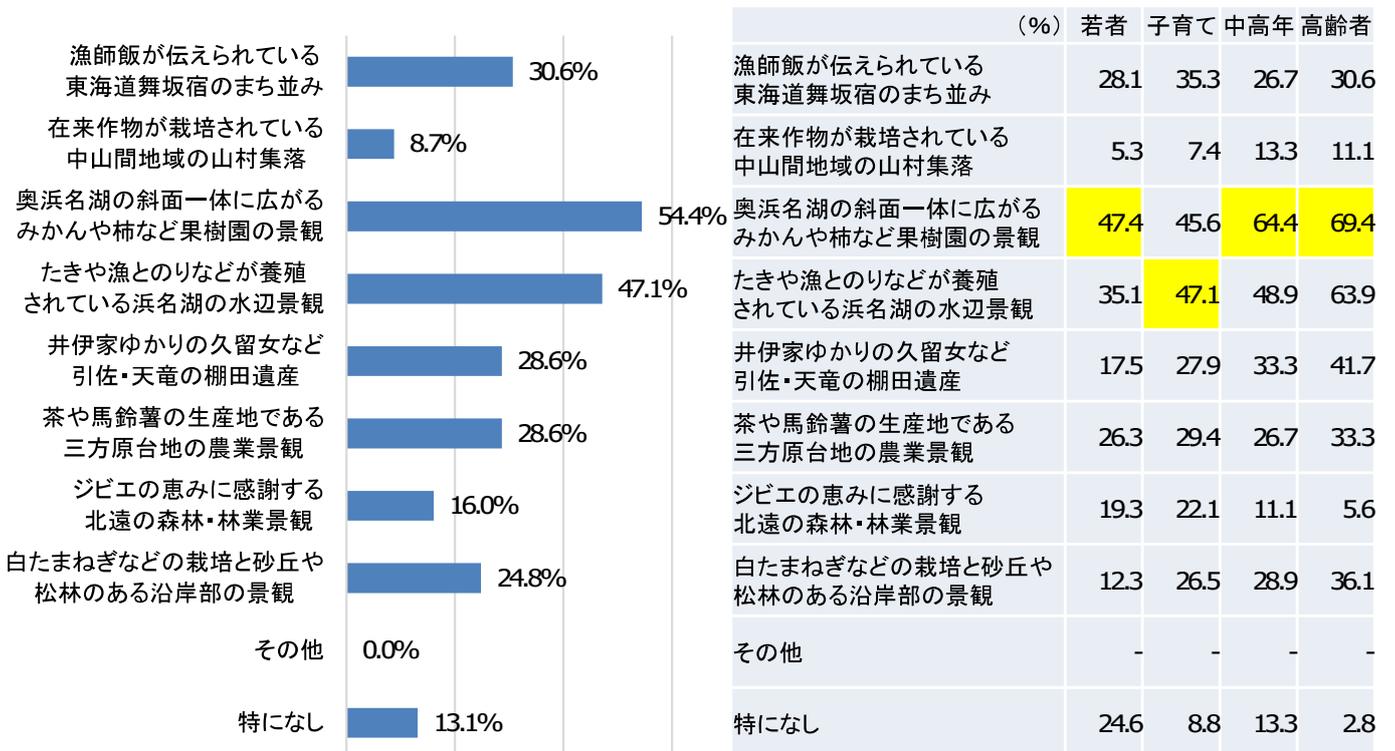
<伝統的食文化と景観について>

■ 問1 浜松固有の伝統的食文化と一体となった景観への関心 (N=206)



- 浜松固有の伝統的食文化と一体となった景観への関心については、「関心がある」が約5割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・高齢者では「関心がある」が、中高年では「どちらともいえない」が最も多い回答となっています。

■ 問2 魅力を感じる伝統的食文化と一体となった景観 (N=206 複数回答)

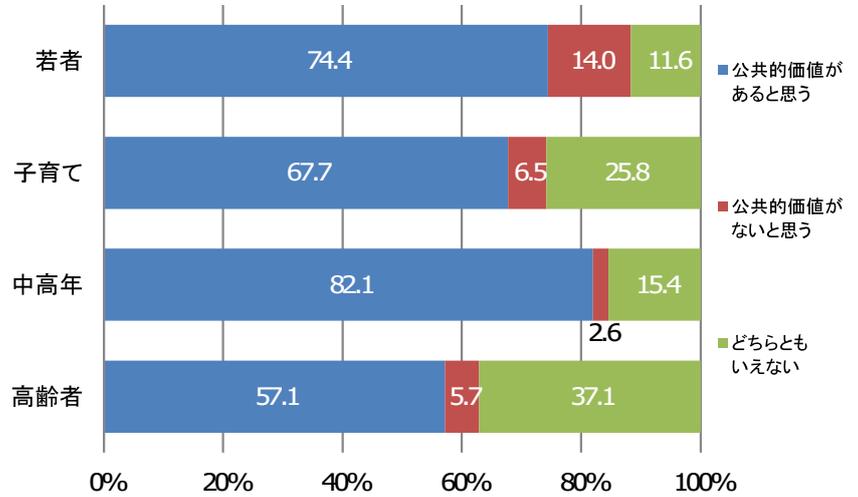
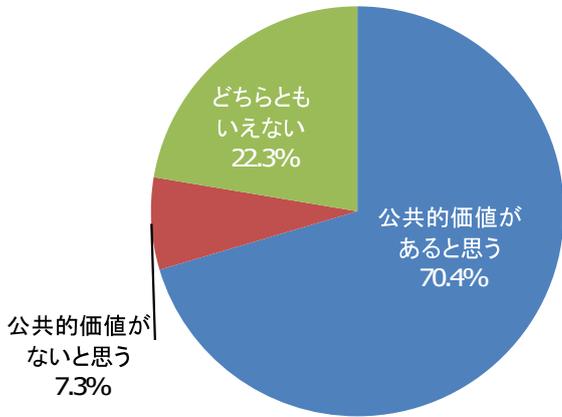


- 魅力を感じる伝統的食文化と一体となった景観については、「奥浜名湖の斜面一体に広がるみかんや柿など果樹園の景観」が約5割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年・高齢者では「奥浜名湖の斜面一体に広がるみかんや柿など果樹園の景観」が、子育てでは「たきや漁とのりなどが養殖されている浜名湖の水辺景観」が最も多い回答となっています。

問3 伝統的食文化と一体となった景観は「公共的な価値」を持っていると思うか

(N=179)

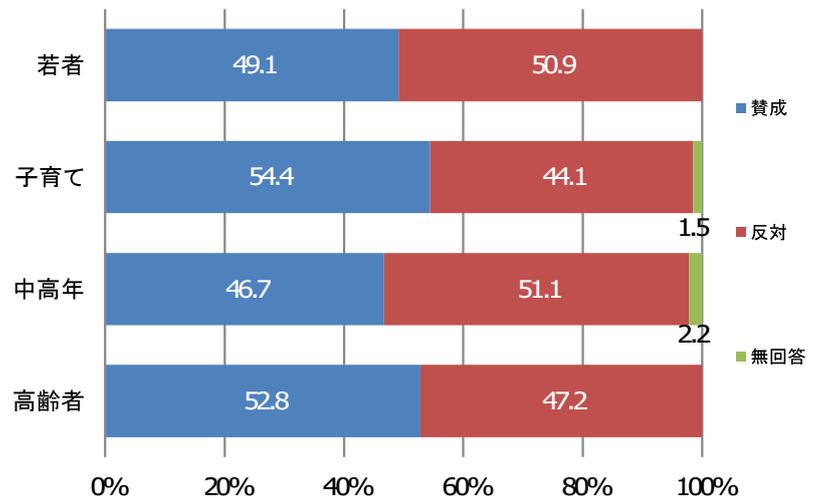
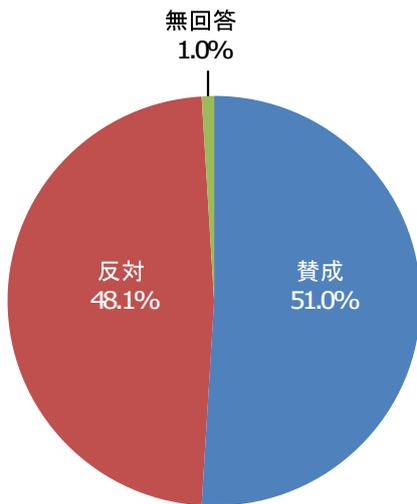
(問2で「1~9」のいずれかを回答した方)



- 伝統的食文化と一体となった景観は「公共的な価値」を持っていると思うかについては、「公共的価値があると思う」が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての約7割、中高年の約8割、高齢者の約6割が「公共的価値があると思う」と回答しています。

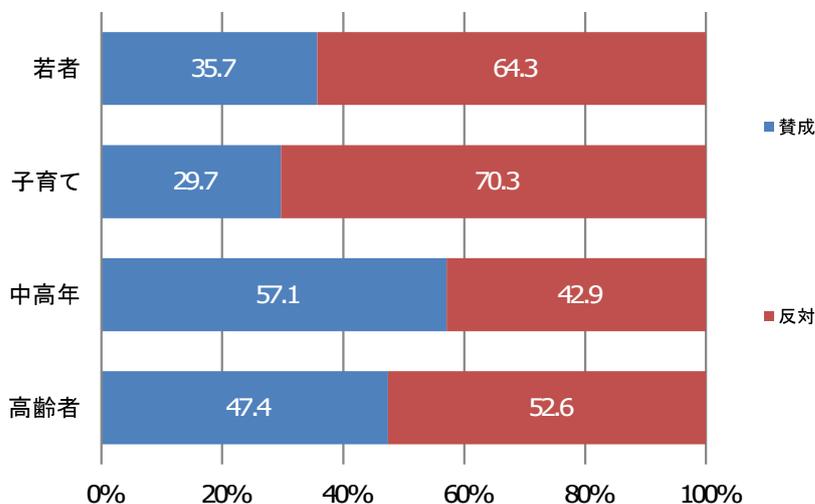
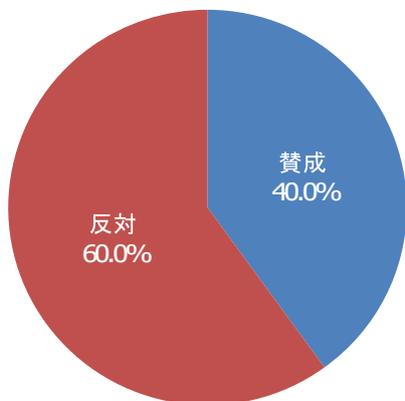
問4 伝統的食文化と一体となった景観を維持するために一人あたり年間1,000円の寄付をすることについて

(N=206)



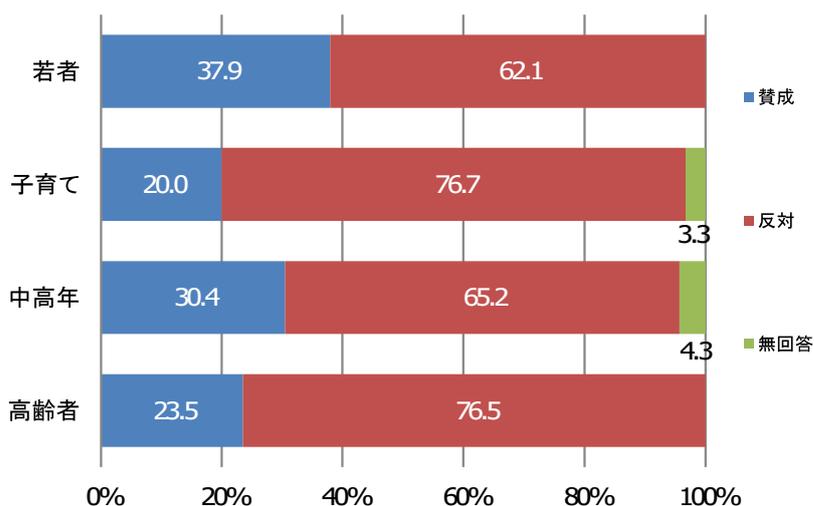
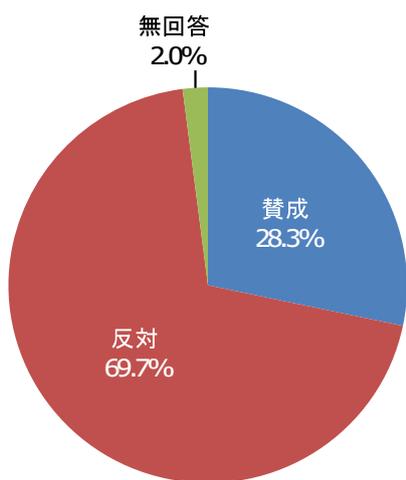
- 伝統的食文化と一体となった景観を維持するために一人あたり年間1,000円の寄付をすることについては、「賛成」が多いものの、「賛成」「反対」ともに約5割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年では「反対」が多くなっていますが、子育て・高齢者では「賛成」がおおくなっています。

■ 問5 伝統的食文化と一体となった景観を維持するために一人あたり年間2,000円の寄付をすることについて (N=105)
(問4で「1 賛成」と回答した方)



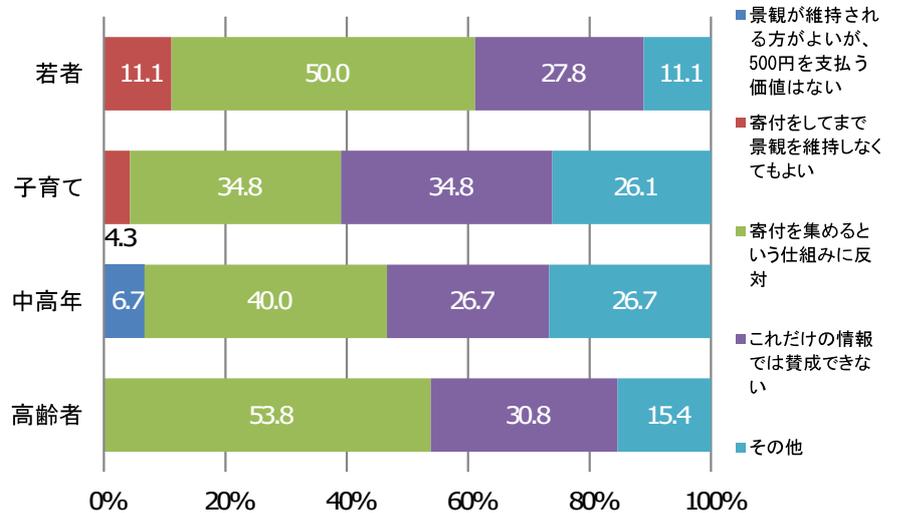
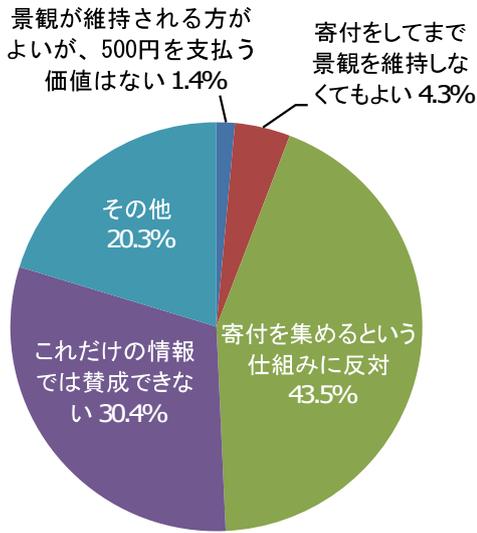
- 伝統的食文化と一体となった景観を維持するために一人あたり年間2,000円の寄付をすることについては、「賛成」が4割となっています。
- 世代別にみると、若者の約4割、子育ての約3割、中高年の約6割、高齢者の約5割が「賛成」となっています。

■ 問6 伝統的食文化と一体となった景観を維持するために一人あたり年間500円の寄付をすることについて (N=99)
(問4で「2 反対」と回答した方)



- 伝統的食文化と一体となった景観を維持するために一人あたり年間500円の寄付をすることについては、「賛成」が約3割となっています。
- 世代別にみると、若者の約4割、子育て・高齢者の約2割、中高年の約3割が「賛成」と回答しています。

■ 問7 伝統的食文化と一体となった景観を維持するために一人あたり年間500円の寄付をすることに反対の理由 (N=69)
(問6で「2 反対」と回答した方)



■ その他意見

- ・世帯単位での寄付
- ・寄付ではなく、税金で維持する
- ・ふるさと納税やクラウドファンディングを利用する
- ・一人いくら寄付は現実的でない

- 伝統的食文化と一体となった景観を維持するために一人あたり年間500円の寄付をすることに反対の理由については、「寄付を集めるという仕組みに反対」が約4割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「寄付を集めるという仕組みに反対」が最も多い回答となっています(子育てでは「これだけの情報では賛成できない」も同率)。